

第3次うきは市総合計画

第2編 基本構想

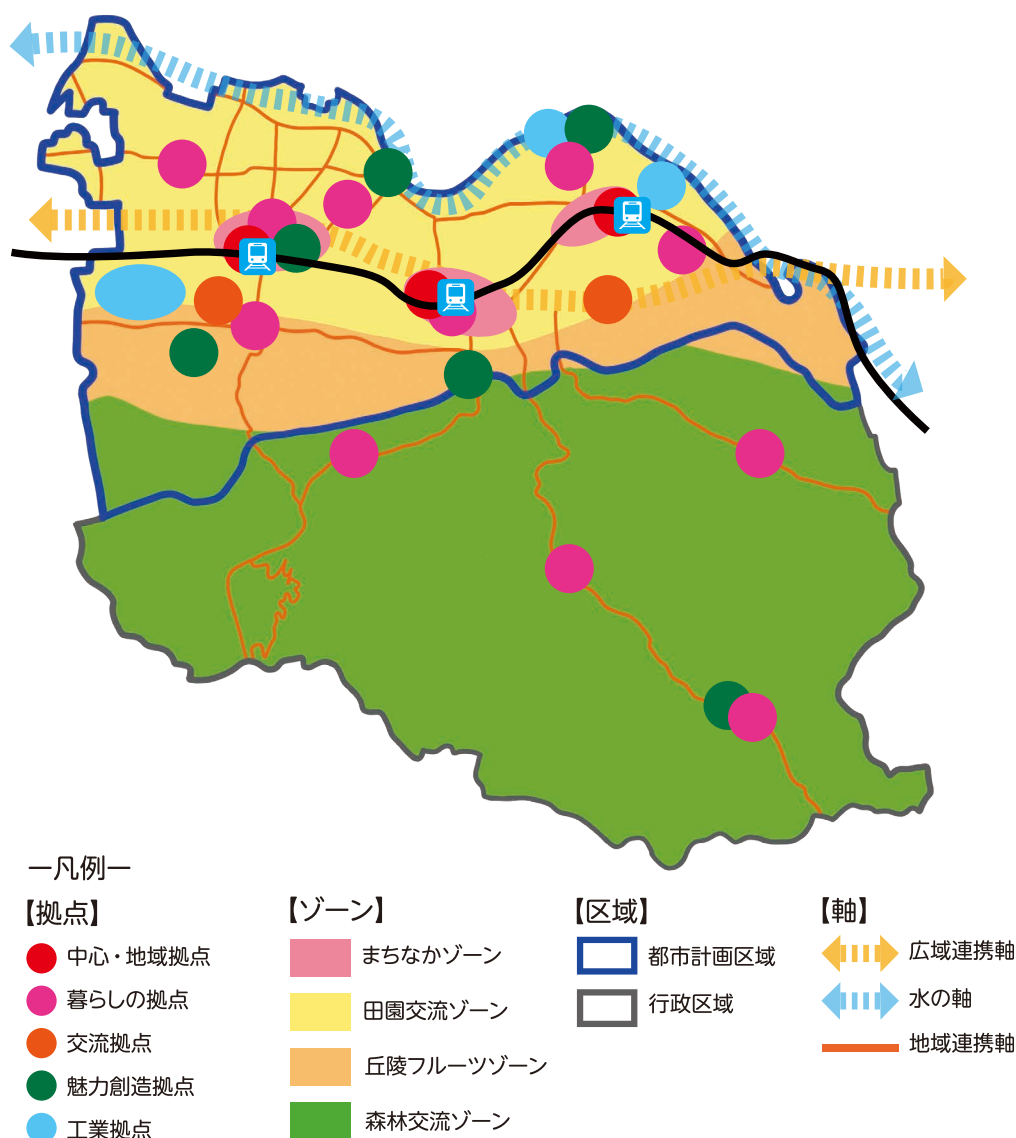
1 まちの将来像

こどもをまんやかに すべての市民が幸せになれるまち うきは

うきは市は、こどもを社会の中心に据え、地域全体で育み支えることを基本理念とします。こどもが健やかに成長できる環境は、世代を超えて市民一人ひとりの幸福につながり、安心して暮らせる持続可能な地域社会を形成します。この将来像のもと、教育・子育て・福祉を基盤に、産業や生活インフラ、デジタル化の推進を通じて、すべての市民が誇りと希望を持ち、共に生きることのできるまちを築いてまいります。

2 将来都市構造

将来都市構造図





3 10年後に目指す基本目標（施策の大綱）

まちの将来像を実現するため、次の5つの基本目標を設定し、10年間取り組んで行くこととします。

1

子育てにやさしく、生きる力と郷土愛を養うまちづくり

妊娠・出産から子育て期まで切れ目なく支援を行い、安心して子育てができる環境を整えます。教育・学習環境を充実させ、地域とともに生きる力や郷土愛を育むことで、次世代を担う子どもや若者が希望を持ち成長できるまちを目指します。

2

時代にふさわしい、新たな産業と技術を活かすまちづくり

農業や観光など地域資源を高付加価値化し、産業の振興と雇用の創出を図ります。デジタル技術や新しい発想を積極的に導入し、企業・人材の育成や移住定住の促進につなげ、持続的で魅力ある経済基盤を築きます。

3

全世代が活躍できる地域社会と魅力あるまちづくり

高齢者や障がい者、子どもを含め、誰もが地域で役割を持ち活躍できる社会を実現します。福祉・医療の体制を充実させ、互いに支え合いながら安心して暮らせる環境を整えるとともに、住民参加と共助の仕組みを推進します。

4

暮らしを支える生活インフラによる住みよいまちづくり

防災・減災対策を強化し、安全で安心な暮らしを守ります。交通や公共施設の整備を計画的に進め、環境保全やエネルギー対策とあわせて、市民が快適で利便性の高い生活を送れる基盤づくりを推進します。

5

デジタル化のさらなる推進と市民に寄り添うまちづくり

行政の効率化や市民サービスの向上を図るためにデジタル技術を活用します。文化やスポーツ活動を支え、多様な市民参画を促し、国際交流や多文化共生を推進することで、一人ひとりが豊かに暮らせる地域社会を築きます。